

KRC WEB REPORT

KRC ウェブレポート

2006年6月20日号 No.039

今月のキーワード：杭の急速載荷試験

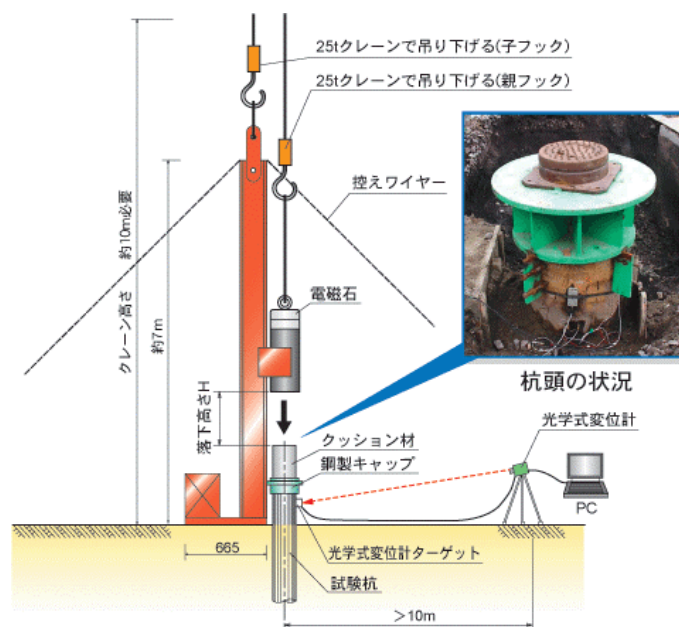
徒然想

サッカー日本代表の頑張りがどこまで通じるか。日本中を巻き込んでの大フィーバーです。しかし、もうあきらめてしまっている人と、最後まで応援し続ける人に分かれてしまっているようにも見受けられます。皆様はいかがでしょう？先日のクロアチア戦は、テレビ朝日によると瞬間最高視聴率が68.6%を記録したようです。わずかでも可能性がある限り全力で闘い続ける選手の姿に、日本中がまだまだ熱い期待と夢を抱いている証拠のひとつでしょう。ところが、そのクロアチア戦は惜しくもドロ。残念でしたが、まだまだ夢は続きます！応援しようではありませんか！サッカーに限らず、夢は追いかけるときこそ強く輝くものだと思います。難しい夢だとしても、追いかけ続けることで皆がひとつになれる。それは、夢からの大きな贈り物ではないでしょうか。

KRC TECHNICAL TOPICS

杭の急速載荷試験 【 http://www.krcnet.co.jp/f_works032.htm 】

杭の鉛直載荷試験は、鉛直に設置された単杭に軸方向の急速荷重による押し込み力を加える試験であり、急速荷重による杭の鉛直支持力特性に関する資料を得ることや、杭の設計鉛直力の妥当性を確認することを目的に実施されます。平成14年に「社団法人 地盤工学会」において基準化されており、従来の杭の静的な載荷試験方法に代わりうる新しい載荷試験方法の1つとして普及しています。



軌道に近接した狭所での軟クッション重錘落下方式の試験装置例

急速載荷試験の試験装置の特徴は、反力装置を必要としない加力装置を用いるため、組立・解体作業にかかる時間が短くて済みます。これに加え、試験時間も短いことから、現場での作業時間が半日～1日と、従来の静的載荷試験に比べ大幅に短縮することができます。これらの特徴から、海上での孤立した杭や市街地など、作業用地の限られる狭い現場の杭に対しても、載荷試験を実施することが可能です。

急速載荷試験で得られる結果は、静的な抵抗成分に加え、動的な抵抗成分を含んでいるため、一質点系モデル解析により静的な抵抗成分を推定し、杭の静的載荷試験(杭の押し込み試験)と同様に評価します。

--->> [ホームページでも紹介しています](#)

KRC NEWS

弊社ホームページ「トピックス」コーナーに、第32回社内シンポジウム開催報告を掲載しております。ぜひご覧ください。【 http://www.krcnet.co.jp/f_topics030.htm 】

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール: krc@krcnet.co.jp ホームページ: http://www.krcnet.co.jp/mail/mail_maga.htm で承っております。